

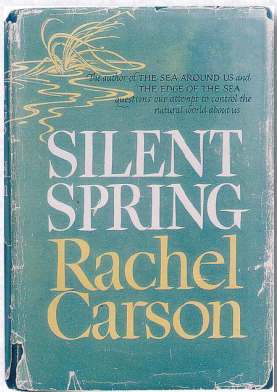
17 「べつの道」へ

レイチェル・カーソンのメッセージ

アメリカの海洋生物学者で作家のレイチェル・カーソンが一九六二年に出版した『沈黙の春』は、これまでの文明のあり方に疑問を投げかけ、環境保護運動のきっかけとなりました。人間も自然の一部と考えたカーソンは、私たちが直面する環境問題は私たちが招いたわざわいで、このことを反省し、これまでとは「べつの道」をとることが、生命と環境を守る唯一の方法だといっています。



レイチェル＝カーソン



『沈黙の春』 ちんもく はる げんしよ 原書

